



平成 26 年 3 月 13 日
東京税関

輸入差止件数は過去最高に迫る！

～平成 25 年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況～

東京税関における平成 25 年の偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況は、次のとおりです。

1. 輸入差止件数は過去最高水準

- 輸入差止件数は、10,854 件で前年（平成 24 年）と比較すると 1.8% 増加となり、過去最高の平成 19 年（11,397 件）に迫る水準となりました。また、前年に引き続き、2 年連続で 10,000 件を突破しました。
- 輸入差止点数は、307,967 点で前年と比較すると 10.7% 減少しました。
- 1 日平均でみると約 30 件、約 850 点の知的財産侵害物品を差止めています。

2. 中国からの知的財産侵害物品が 3 年連続 9 割超、一極集中が継続

- 中国からの知的財産侵害物品の輸入差止件数は 9,952 件、差止点数は 254,122 点で、仕出国別の構成比（件数ベース）では全体の 91.7% を占めており、構成比は 3 年連続で 9 割を超えていました。前年同様、中国を仕出しとする貨物への一極集中が続いている。

3. 健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の差止めが増加傾向

- 消費者の健康・安全を脅かす偽医薬品、カメラ・ビデオ用バッテリー、乳幼児用の子守帯（ベビーキャリア）、玩具、自動車用部品等の知的財産侵害物品の差止件数が増加傾向にあり、過去 10 年間で約 5 倍に増加しています。
- また、海賊版 CD・DVD 類の差止件数は、前年と比較して約 9 倍に急増しています。

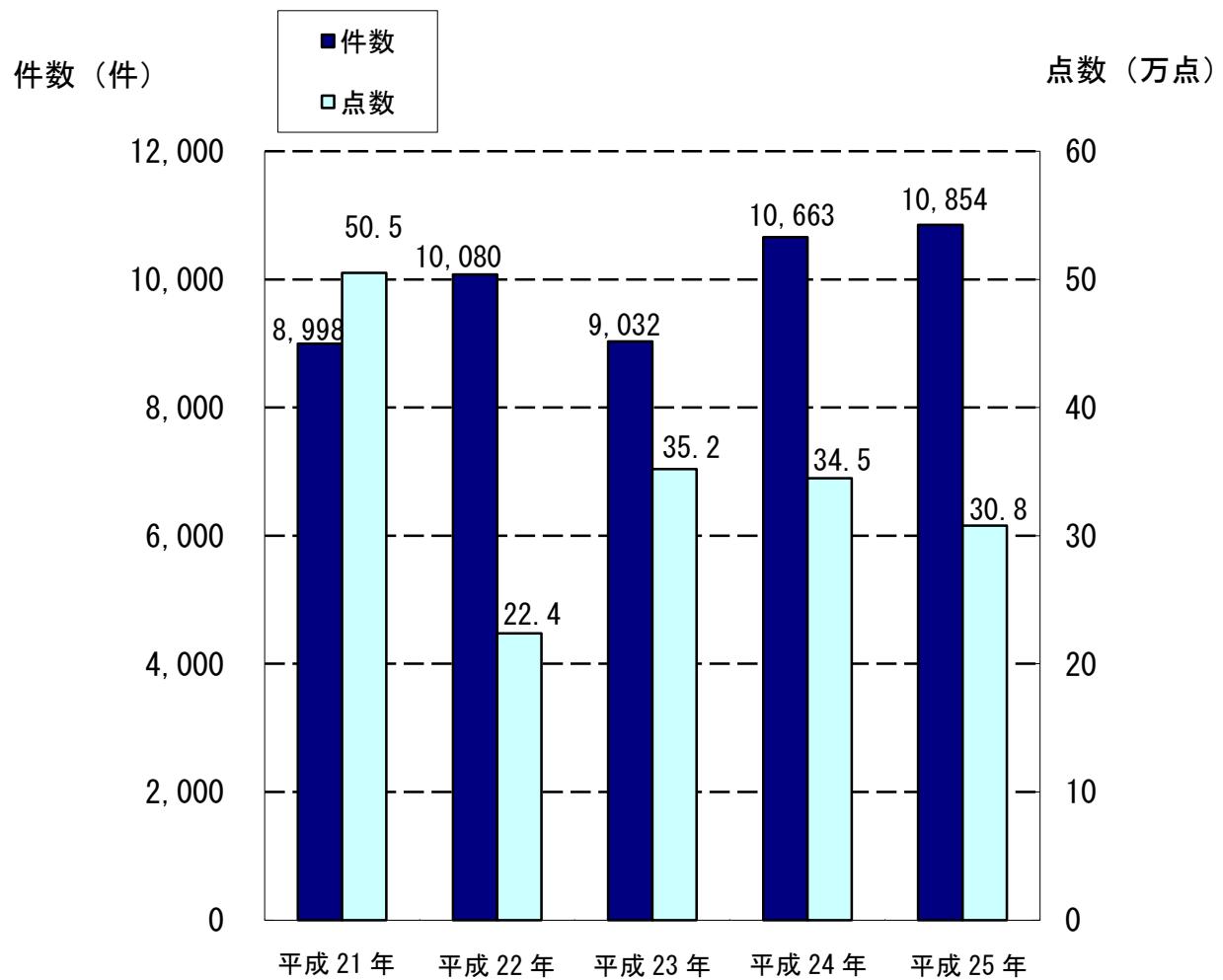
【お問い合わせ先】
東京税関 税關広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

平成 25 年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

- 平成 25 年の東京税関における知的財産侵害物品の輸入差止件数は 10,854 件で、前年と比較して 1.8% 増加しました。件数の増加は、中国からの衣類、DVD、スマートフォン用ケースの差止めが増加したことが主な要因です。
- 輸入差止点数は 307,967 点で、前年と比較して 10.7% 減少しました。主に、中国からの衣類、スマートフォン用ケース、バッグ類、文具類等を差止めています。

（注）件数・点数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の件数・点数を計上したもの。

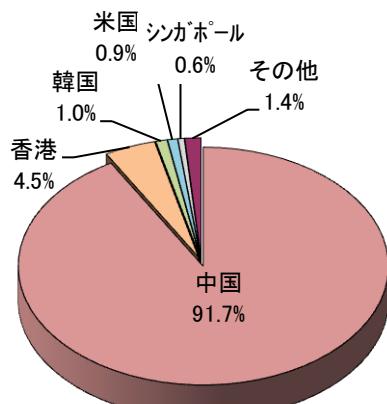
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成21年～平成25年）



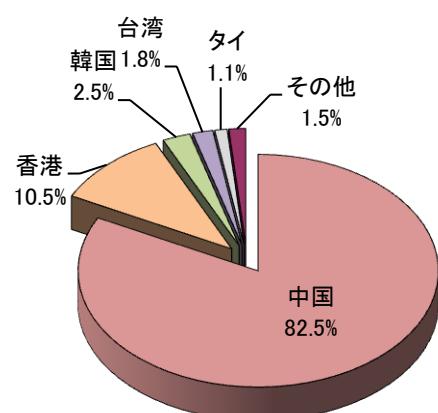
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国を仕出しことるものが9,952件（前年比0.6%減、構成比91.7%）、次いで香港が486件（前年比58.8%増、構成比4.5%）と増加し、韓国が108件（前年比21.7%減、構成比1.0%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国を仕出しことるものが254,122点（前年比11.2%減、構成比82.5%）、次いで香港が32,459点（前年比10.1%減、構成比10.5%）、韓国が7,723点（前年比26.2%減、構成比2.5%）となりました。

仕出国(地域)別差止実績
構成比(件数ベース)

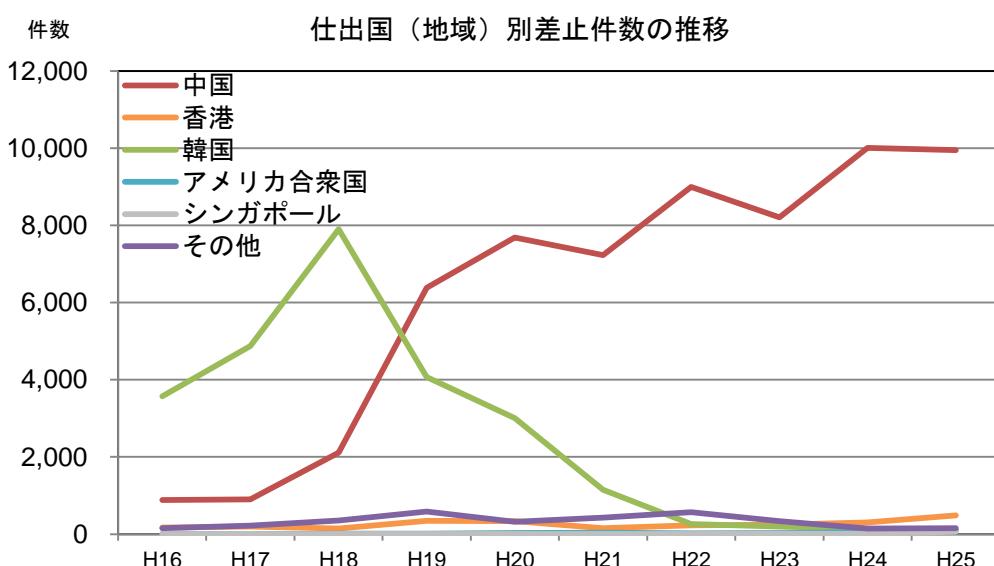


仕出国(地域)別差止実績
構成比(点数ベース)



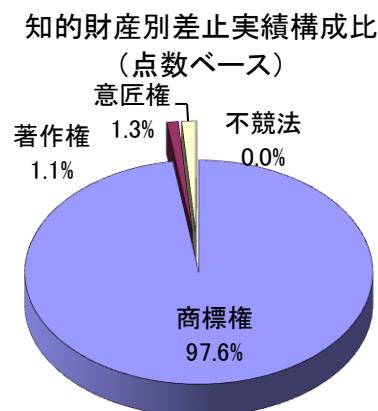
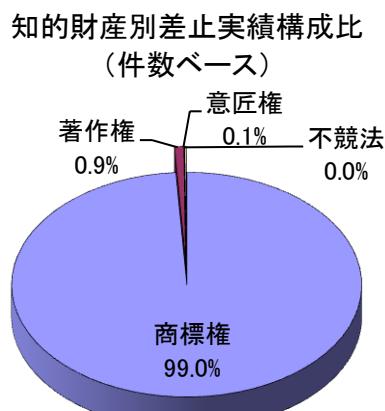
(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合がある。

- 知的財産侵害物品の仕出国については、中国を仕出しことる貨物の差止件数が増加傾向であり、中国の一極集中が進んでいます。差止件数は、前年に引き続き2年連続で9,500件超となりました。



○知的財産別輸入差止実績

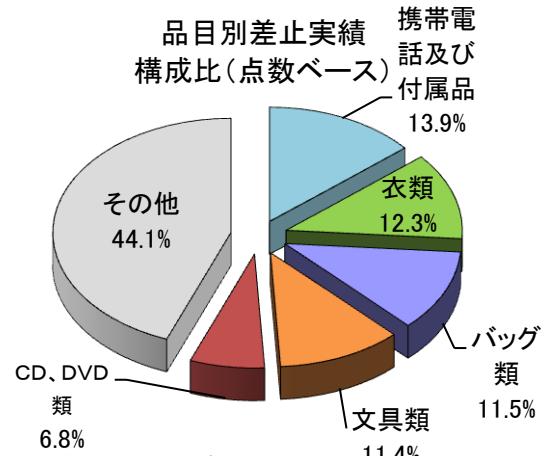
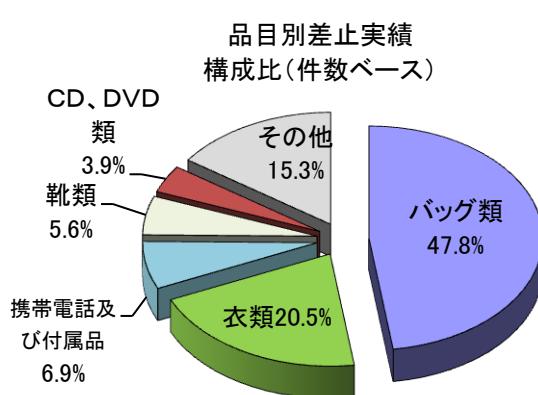
- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 10,797 件（前年比 1.8%増、構成比 99.0%）で大半を占めています。次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 93 件（前年比 45.3%増、構成比 0.9%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が 14 件（前年比 41.7%減、構成比 0.1%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 300,649 点（前年比 6.1%減、構成比 97.6%）、次いで著作権侵害物品が 3,350 点（前年比 83.5%減、構成比 1.1%）、意匠権侵害物品が 3,935 点（前年比約 2 倍、構成比 1.3%）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合がある。

○品目別輸入差止実績

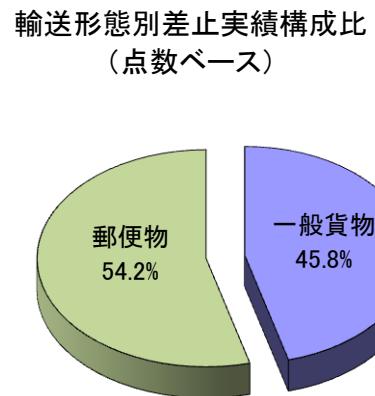
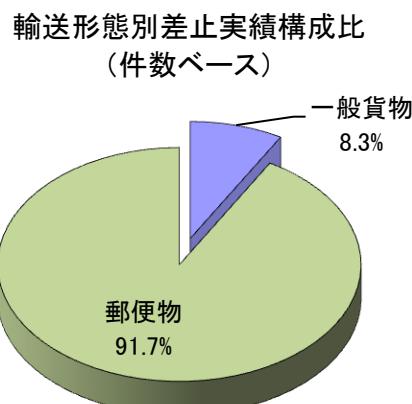
- 輸入差止件数は、バッグ類が 5,665 件（前年比 17.4%減、構成比 47.8%）、衣類が 2,434 件（前年比 39.1%増、構成比 20.5%）、スマートフォン用ケース等の携帯電話及び付属品が 814 件（前年比 89.7%増、構成比 6.9%）、靴類が 665 件（前年比 41.2%増、構成比 5.6%）、CD・DVD 類が 468 件（前年比約 8.5 倍、構成比 3.9%）となりました。
- 輸入差止点数は、携帯電話及び付属品が 42,750 点（前年比 53.3%増、構成比 13.9%）、衣類が 37,861 点（前年比 20.5%減、構成比 12.3%）、バッグ類が 35,493 点（前年比 23.5%増、構成比 11.5%）、文具類が 35,091 点（前年比約 90 倍、構成比 11.4%）、CD・DVD 類が 20,861 点（前年比約 3 倍、構成比 6.8%）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合がある。

○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 9,953 件（構成比 91.7%）、一般貨物が 901 件（構成比 8.3%）となっています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 166,809 点（構成比 54.2%）、一般貨物が 141,158 点（構成比 45.8%）となり、件数ベースに比べて一般貨物の割合が多くなっています。



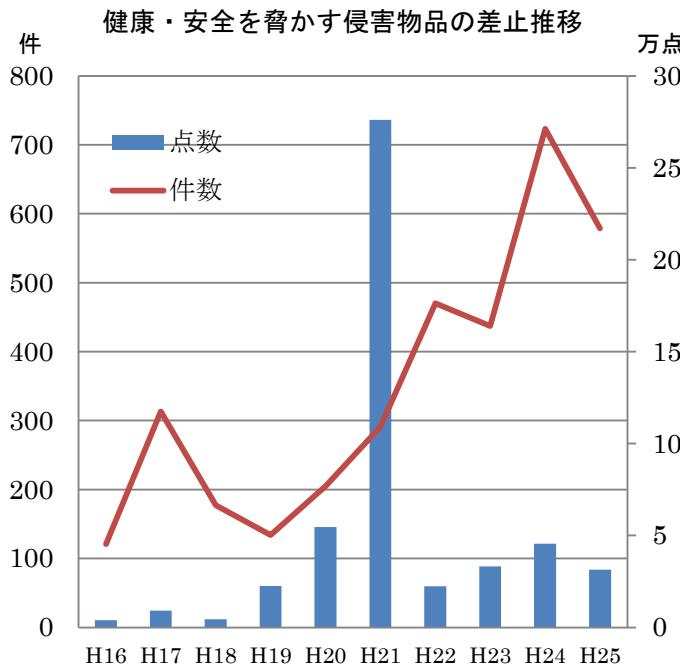
(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合がある。

(トピックス①) 消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の増加

- 差止められる知的財産侵害物品の中には、消費者の健康・安全を脅かす偽医薬品、電気製品、自動車用部品等の知的財産侵害物品もあり、近年はその差止件数が増加傾向にあります。

また、消費者の健康・安全を脅かす知的財産侵害物品の差止件数は、過去10年間で約5倍に増加しています。

(注)「健康・安全を脅かす知的財産侵害物品」は、薬品、食品、化粧品、電気製品、自動車及び付属品、運動用具、タバコ、メガネ等である。



乳幼児用の浮き輪

- 乳幼児用の子守帯やカメラ・ビデオ用バッテリーの知的財産侵害物品（商標権侵害物品）は、その品質・性能が保証されておらず、使用中の落下事故や発火、破裂事故等を起こす危険性があり、安全性の問題が指摘されています。



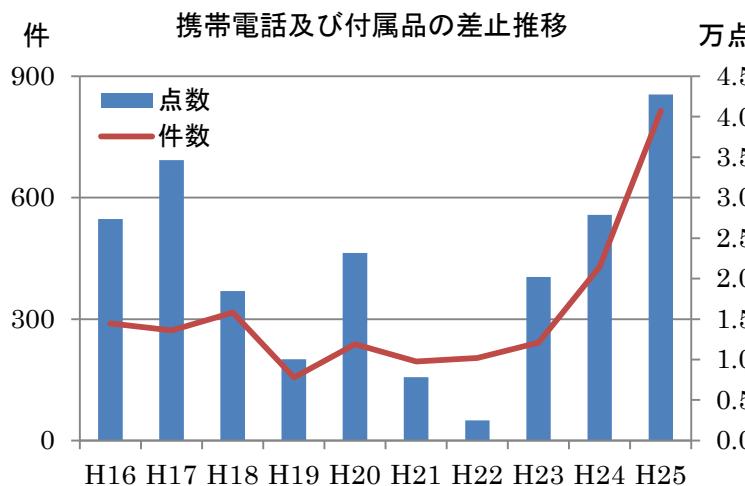
乳幼児用の子守帯（ベビーキャリア）



カメラ・ビデオ用バッテリー

(トピックス②) スマートフォン用ケース、海賊版D V Dの差止めが増加

- 以前は、携帯電話機の普及に伴い、携帯電話機用ストラップの知的財産侵害物品の輸入差止めが増加しましたが、近年はスマートフォンの普及に伴い、スマートフォン用ケースの差止めが増加傾向にあり、平成25年は携帯電話及び付属品の差止点数が約4.2万点と過去最高となりました。



- 最近は、ヒット商品等の知的財産侵害物品の輸入差止めが増加傾向にあり、平成25年は通販でヒットした海賊版D V Dが数多く差止められました。
平成24年に55件であったCD・D V D類の差止件数が、平成25年は468件（約9倍）に急増しました。過去にもヒットしたD V D等の差止めが急増した事例があり、今後もヒット商品に便乗した海賊版D V D等の知的財産侵害物品に注意が必要です。

